



キュウリ編

2013年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

定植時・生育初期の防除特集

粒剤は2~3週間効果が持続するので、害虫防除にとっても有効です。
アブラムシ類・コナジラミ類・ミナミキイロアザミウマはウイルス病を媒介します。
ウイルス病は一度感染すると治らないので、害虫の防除を徹底しましょう！
また、物理面から防虫ネット(0.4もしくは0.6 mm)の展張をおすすめします！



【定植時おすすめ粒剤】

ベストガード粒剤	1~2g/株 定植時 1回 植穴処理土壌混和
	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ
アルバリン粒剤	1~2g/株 定植時 1回 植穴土壌混和
	(1~2g)アブラムシ類、コナジラミ類、 (2g)アザミウマ類、ハモグリバエ類

植穴処理土壌混和



根の吸収点に薬剤があるため効果が高い！

【定植後おすすめローテーション】

ハモグリバエ類
ウリノメイガ

うどんこ病・褐斑病
灰色かび病・べと病
黒星病・炭疽病

プレバソンフロアブル5 1,000~2,000倍 前日/3回
(ウリノメイガ2,000倍)

ダコニール1000 1,000倍 前日/8回

コナジラミ類
ミナキイロアザミウマ
アブラムシ類

うどんこ病
褐斑病・炭疽病
灰色かび病

アクタラ顆粒水溶剤 2,000~3,000倍 前日/3回
(ミナキイロアザミウマ2,000倍、他は3,000倍)

ベルコート水和剤 2,000~4,000倍 前日/5回 (褐斑病は2,000倍)

アザミウマ類
ウリノメイガ・コナジラミ類
アブラムシ類・ウリハムシ

うどんこ病・菌核病
灰色かび病・黒星病
つる枯病・炭疽病

モスピラン水溶剤 2,000~4,000倍 前日/3回
(コナジラミ類・ウリノメイガ2,000倍、ウリハムシ4000倍)

トップジンM水和剤 1,500~2,000倍 前日/5回

アブラムシ類・ハダニ類
オンジツコナジラミ
ミナキイロアザミウマ

疫病・褐斑病
炭疽病・つる枯病
べと病・黒星病

アーデント水和剤 1,000倍 前日/4回

ジマンダイセン水和剤 600倍 前日/3回
(べと病600~800倍)

おすすめ資材

- 酵母由来のアミノ酸
- キトサンオリゴ糖
- 水溶性マンガ
- 水溶性ホウ素



定植時のどぶ漬け処理がおすすめ！
500~1,000倍で浸漬処理

【使い方】500~1000倍液に
根部をどぶ漬けして定植(移植)。



100g~150g/10aまたは
2000~3000倍灌水で
7日~14日おきの使用をお勧めします！